

GT50

1972年 / 市販車

ミニトレール FT50の後継モデル。MR50と同じ高性能エンジンを、本格的なダブルクレードルフレームに搭載、アップフェンダー、アップマフラー、フラットシート、セミブロックタイヤ、など「DT シリーズ」のオフロード仕様のデザインを踏襲している。全体に小柄なサイズヘデフォルメしたコンパクトな車体は、子どもや女性或いはバイク初心者でも手軽にオフロード走行を楽しめ、GT50は「ミニトレ」の愛称で親しまれ、オフロードバイクの入門車として若者を中心に大ヒットした。

GT50が生み出した「ミニトレ」というジャンルは、その後のヤマハ発動機のミニバイクの系譜に大きな影響を与えた。GT50で培われたコンパクトで高性能な車体設計のノウハウは、後のロードスポーツモデル「YSR50」や、オフロードモデルの「DT50」などにも受け継がれ、多くの若者にバイクの楽しさを伝えるきっかけとなった。

1971 - FT50



COMMUNICATION
P L A Z A